

# わき

議会だより

第125号 2021. 11. 1

住民の安心感 戸別受信機 …… p 2・3
町内の課題もつとくわしく …… p 4・5
令和2年度決算審査 …… p 6・7
一般質問 …… p 8～11
自治会長インタビュー …… p 12

★  
**コロナに負けるな。**  
★  
中学校体育祭



和木町議会広報広聴常任委員会 E-mail : [gikai@town.waki.lg.jp](mailto:gikai@town.waki.lg.jp)

# 9月定例会

## 住民の安心感に大きく前進

戸別受信機1期工事170戸完了  
2期工事91戸は年明けを予定

9月定例会は、9月9日から27日までの19日間の会期で開催され、報告5件、同意3件、認定1件、議案9件、発議1件を全会一致で可決しました。一般質問は、4名の議員が登壇し、町政の様々な問題を議論しました。

### 補正予算

\*防災行政無線戸別受信機の基金積立金  
935万円  
(森脇議員)

基地再編交付金を活用して始まった戸別受信機の2期分の工事費として使用する積立金です。

**問** 基金積立金の使途と内容を問う。

**答** 既に令和2年度に1期分工事費1760万円を積立て、170件で6

月頃から着工しており、ほぼ完了している。2期工事は91件で年明けから着工予定である。

### 戸別受信機申請者 (4/23現在)

	第1期 募集期間 (11/1～ 11/30)	第2期 募集期間 (12/1～ 3/31)	合 計
和木地区	94	55	149
瀬田地区	18	29	47
関ヶ浜地区	58	7	65
合 計	170	91	261



建設中の装束ポンプ場

\*装束雨水ポンプ場  
改修工事  
負担金2850万円  
(森脇議員)

**問** 工事内容について伺う。

**答** 第2ポンプ場の雨水ポンプが故障したため、前倒しで取り換え工事を実施する。

\*障がい者福祉扶助事業  
扶助費 78万円  
(上田議員)

障がい者の方が日常生活を送る上で必要な補装具の購入、修理にかかる経費です。

**問** 身体障がい者のための補装具の交付、修理費の内容について伺う。また、他に対象となる補装具は。

**答** 今回は座位保持装置と車いすをセットで購入予定。義手、義足、歩行器、盲人用の杖、補聴器等が対

象となる。本人負担は原則1割、負担上限額は3万7200円。ただし、町民税所得割が非課税世帯の方は負担なし。

\*家庭で使用する  
モバイルルーター  
(40台) 88万円  
(栗本議員)

小中学校で使用するタブレットを家庭で使う場合のネット環境がない世帯への整備経費です。

**問** ルーターの機種や価格、契約について伺う。

**答** 1台約2万円。通信会社と各世帯で通信契約が必要で、通信料は各世帯負担を検討中である。

**問** プロバイダ契約時に無料でモバイルルーターを貸し出すサービスが多くあるが、なぜルーターを購入し、家庭に貸し出すのか。

**答** 契約の際に、少しでも安価になるようモバイルルーターを購入し、家庭の負担を少なくするため。



もっとくわしく聞きました

教育

小・中学校での「いじめ」の対処 (中村委員)

問 いじめの報告はあるか。対策は。

答 学校での「問題行動調査」によると、小学校8件、中学校14件(令和2年度)。すべて日常的衝突としてのいじめで、認知から3か月以上経過し、当事者が大丈夫だと判断した場合に解消となる。

今年度の中学校1件のみが経過観察中、その他は解消済みである。生徒指導定例会や職員会議等で、情報交換を定期的に行い、担任一人が問題を抱え込むことがないよう、学年部・生徒指導部・学校全体で対応している。週1回、生活アンケートを実施し、気になる児童生徒については担任や生徒指導主任等がじっくりと話を聞き、本人の心配事が解決するように働きかけている。

学校教育全体において、いじめを取り上げた授業や活動を行うことを通して、いじめは絶対に許されないものであるという意識を高める取り組みを行っている。

「コロナによる授業の遅れは (小林委員)

問 夏休みでの補習授業はどうなっているのか。タブレットやパソコン授業はスムーズに進行しているか。

答 小学校では授業時数確保等のため、3〜6学年を対象に7月に3日間を授業日に設定。中学校では8月30、31日を出校日として「夏休み明けテスト」を実施。タブレットを用いての授業は音楽や体育等の技能教科においても活用されている。



生活・環境

わきあいあいバスが町民に利用しやすくするための施策を (森脇委員)

問 変更された運行ルートを和木駅に表示し、バスが停車する所にシールのようなもので分かりやすく示してほしい。



運行ルートでバス利用促進を

答 和木駅には時刻表のみを掲示しているが、運行する時間帯や曜日が多様なルート設定をしているため、路線図では複雑で分かりにくい。今後、分かりやすいものが作成でき次第、掲示していく。シール等での表示は、全

ての停留所への適切な設置は困難であるが、今後も、利用者に親しみやすいものとなるよう改善を図る。

完成間近、緑ヶ丘町営住宅第3棟 (上田委員)

問 第3棟の建設状況と入居者の状況は。

答 8月末時点で78%の進捗率となっており、工事は順調に進んでいる。(工期：12月24日) 対象住宅の方に移転希望調査をし、25戸の入居者が決まっている。



入居が待ち望まれる町営住宅

## 健康・福祉

### ワクチン接種

(上田委員)

**問** 12歳から15歳の接種、妊娠中の方への接種状況は。

里帰りしている方の接種は。

**答** 小中学生に該当する12歳から15歳は、2回の接種が夏休み中に完了するよう日程調整を行い、保護者同伴のもと保健相談センターで集団接種を実施した。

妊娠中の方は、一般の64歳以下と同様に案内をし希望者に接種している。里帰り出産は該当される方からの問い合わせは無かった。

## 防災

### 土石流の原因になった盛り土

(兼本委員)

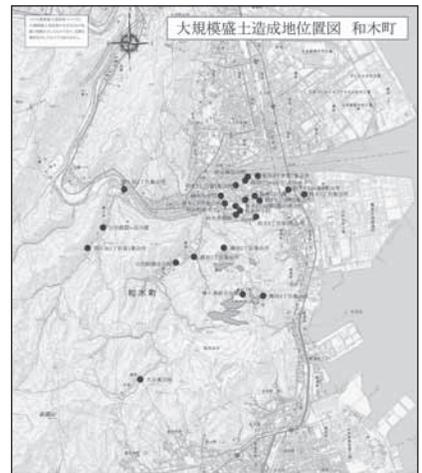
**問** 熱海市の大規模土石流と類似する盛り土はあるのか。

町内の盛り土造成地対象地

域は安全対策や安全基準は守られているのか。  
「大規模盛土造成地マップ」は公表しているか。

**答** 和木町内には、熱海市の土石流の原因となるような行政の指示に反した盛土は無いと承知している。

大規模盛土造成地は、造成時に開発業者が許可行政庁の示す基準を満たして造成しており、危険ではないと認識しているが、近年、大地震に伴う滑動崩落による被害が多発していることから、国を挙げた危険性を把握するための調査や滑動崩落防止対策事業を進めていく方針が示されている。平成29年度に県と共同で



和木町の大規模盛土造成地マップ

大規模盛土造成地を洗い出し、平成30年7月にホームページに掲載している。

### 緊急事態発生の場合

(灰岡委員)

**問** 町内に緊急事態が発生した際、防災無線が放送される場合の規定はあるか。

**答** 「避難指示等の発令・伝達マニュアル(令和3年5月13日改訂)」に基づき、「高齢者等避難」「避難指示」「緊急安全確保」の発令に際して緊急放送の使用を規定し、コンビナート災害は「石油コンビナート災害時の住民広報マニュアル(平成25年3月)」に基づき規定している。

4自治会会長(上灰場、中灰場、沖灰場、新地)、企業の安全部門の担当、企画総務課担当で今後の広報活動を検討している。



防災無線

### 心配な瀬田川の倒木

(嘉屋委員)

**問** 瀬田川河川敷プールから大谷地区にかけて倒木が目立つ。台風や大雨の時に川を塞ぎ、災害の発生を伴うので町としても実地検証したうえで検討する必要があると考えますがどうか。

**答** 瀬田川を管理する山口県と引き続き対応を協議していく。県管理の河川である。

# で膨らむ 一般会計歳入 48億3047万円

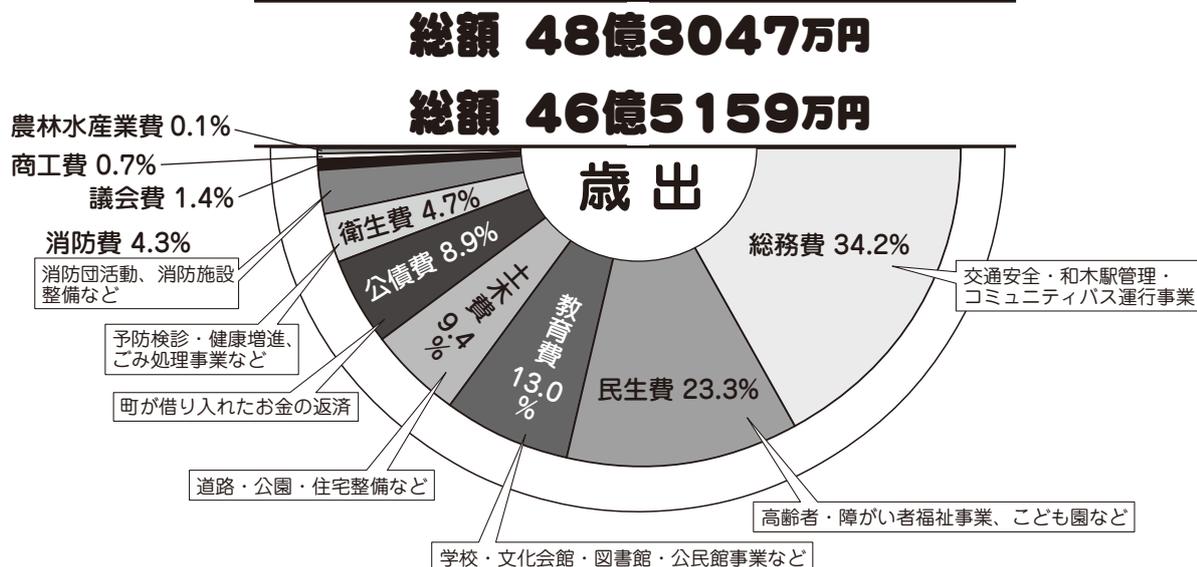
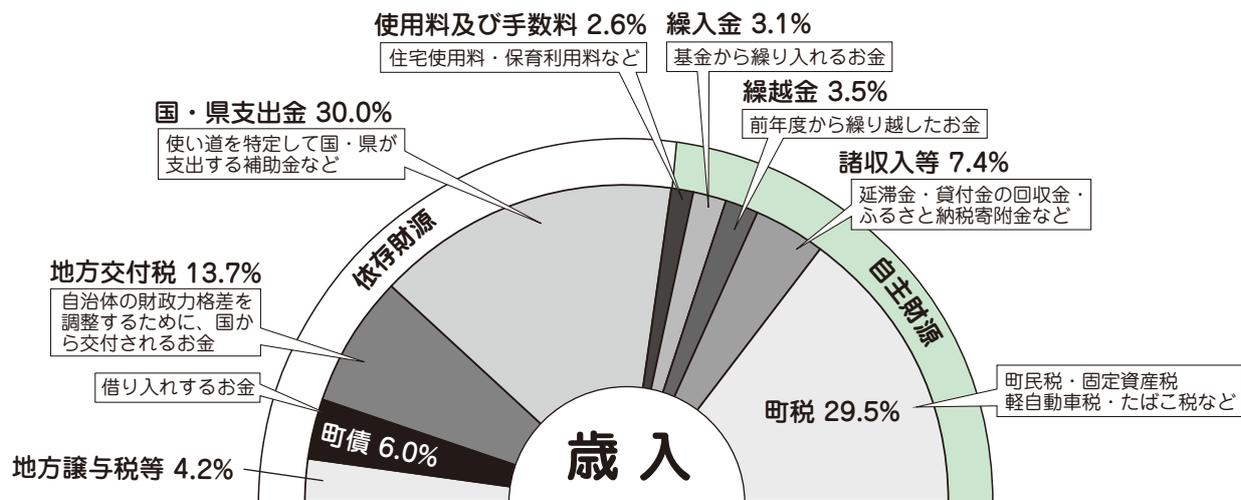
(前年度比 7億6100万円増)

子育て支援・事業者支援などきめ細かな生活支援策

地方創生臨時交付金 1億3450万円

## 主な地方創生臨時交付金事業

<p><b>和木町ホームページ更新委託料 388万円</b></p> 	<p><b>子育て応援給付金給付事業 1546万円</b></p> 	<p><b>事業継続応援給付金 373万円</b></p> 	<p><b>出産応援給付金 300万円</b> <b>妊産期特別給付金 530万円</b></p> 
--	---	--	---



# 国からの新型コロナ支援策

国庫支出金

13億200万円

## 町民の暮らしを支える

1人あたり10万円の特別定額給付金 6億2540万円

### 決算審議

**問** 町税の不納欠損額が増えているが、内容と原因は。(小林・中村委員)

**答** 町民税については、無収入1名、転出し音信不通1名、生活保護1名。固定資産税は、相続が複雑で相続人が海外在住で納税がされないため。

**問** 住宅建設奨励事業の申請者数と事業効果は。(小林・上田委員)

**答** 令和2年度の新たな申請者は19人。それ以外の申請者(平成27年から平成30年に新築)は55人。住宅建設を奨励することに

より人口増を図ることを目的としており、成果は出ている。

**問** ふるさと納税の実績と主な返礼品は。(上田委員)

**答** 令和2年度寄附額は6833万円。主な返礼品ティッシュペーパー、トイレットペーパー、和木ゴルフ倶楽部商品券。

**問** 家庭用防犯カメラ設置補助金は予算30万円に対し、決算額は6万8千円。今後補助を続けるのか。(灰岡委員)

**答** 年度間でばらつきはあるが、続けていきたい。

**問** 小学校漢字検定料助成の成果は。(上田委員)

**答** 1年生から4年生の希望者及び5、6年生の児童全員が受験。

準2級から10級までの受験者数263名。漢字への興味は出て来た。

**問** 中学校英語、漢字、数学検定料助成の成果は。(上田委員)

**答** 英語検定は準2級から5級の受験者64名で県内トップクラス。数学検定は3級から5級の受験者10名。漢字検定は準2級から5級の受験者47名。成果を上げている。

**問** 住宅建設資金利子補給金の申請件数と効果は。(上田委員)

**答** 新規認定件数20件で全体の交付件数は112件。他市町にない支援制度であり、定住対策に一定の効果があると考える。

**問** 自立支援医療事業の予算に対する決算額が大幅に増えている理由は。(灰岡委員)

**答** 予算編成後に生活保護受給者1名の支給申請があり、加えて対象者が透析治療を行っているため増加した。

**問** 障がい児通所給付費が増額した理由は。(灰岡委員)

**答** 発達支援を必要とする児童の人数が増えたことと、「放課後等デイサービス」の開所が大きな理由。延べ利用人数は34人(2カ所以上の併用あり)実利用者は27人。



玄関口に設置された家庭用防犯カメラ



検定料助成で県内トップクラスへ

# Q 学校図書館に潤沢な予算はあるのか

なかむら みつこ  
中村 充子 議員



教育長 図書標準数を小・中学校とも大幅にクリアしている



読書センター・学習センターとして期待される小学校図書館



情報センターとして期待される中学校図書館

**質問** 図書館の前年度の予算は。その中に電子資料やメディアの資料の金額は。新聞は何社図書館に揃えてあるか。

**教育長** 学校の図書関係の予算だが、令和2年度の決算額は、教育振興事業費の消耗品費738万円から、小学校は62万円、中学校は50万円が図書の購入費である。

新聞やメディアの資料費として管理運営事業の消耗品費191万円から、小学

校9万円、中学校13万円となる。

電子資料として新聞データベース（これは学校向けオンライン記事検索に活用する）の通信料は、小・中それぞれ同額で2万7千円を教育委員会事務局費に計上した。

図書関係の予算執行額は、小学校が合計、約103万円、中学校が約96万円ということだ。

新聞は、小学校は現在1社2種類。中学校は、現在1社である。

コロナ対策の徹底により、本年度は多くの児童生徒の手に触れることを避けるため、小中学校ともに新聞紙は図書館に置いていない。大事なニュース等を切り抜いて、掲示に活用している。

**質問** 1社ということは予算の節約か。それでは情報に偏りがあるのではないか。

**教育長** 中学校は、これまでに4社の朝刊がN

IE教育との関係で無償配付されていたが、コロナの関係で本年度は打ち切りになった。1社だけでなく様々な新聞を読めるように配慮していたが、今コロナ禍の中難しい状況になった。

## \*コロナワクチン接種は

**質問** 12歳から15歳の接種状況及び町内の接種状況は。

**保健福祉課長** 12歳から15歳の接種対象者の保護者あ

てに申込書を送付した。保護者の同意を得て同伴で接種を行っている。また、町内の多くの方が2回の接種を早い段階で済ましている。9月24日をもって町内での集団接種を完了する。

**質問** 中学生や高校生は夏休み中に接種を終えたのか。

**課長** 小・中学生・高校生へのワクチン接種は、夏休み期間中に2回の接種を行えるよう、1回目の接種日を7月28日と7月30日に、2回目の接種日を8月18日と8月20日に設定した。対象者の希望により、2回目も9月の日程になつて

いる場合もある。接種希望者は、夏休み期間中に、おおむね接種が終わつた。

# 町にとって 蜂ヶ峯総合公園のあり方は

もりわき あけみ  
森脇 明美 議員



**町長** 観光資源であり憩いの場、交流の場、防災拠点である

**質問** 蜂ヶ峯総合公園は今後どうあるべきか問う。

**町長** 公園は町を象徴する観光資源であり、

県東部の玄関口であり町の魅力を広く発信する場と考えている。

町民の憩いの場、交流の場として町の活力と雇用を創出する場にしていきたい。

また全ての防災拠点となり、和木町に限らず広域の総合救済体制が整っていくベースになる場所だと考えている。

**\*Bee+エリアの現在の状況とこれからの展望**

**質問** 4月に完成したBee+エリアの状況と展望は。

**課長** 都市建設 8月末現在、3万人を超える利用者数

だ。コロナ収束後の利用者数の増加に期待している。

**質問** 冬には公園の来場者数が少なくなると思うが、どのように考えているか。

**課長** Bee+は年間を通じて、中小規模の

イベントを一つのコンセプトとしており、冬ならではのイベントを開催すること等で一定の集客を保つていきたい。

**\*県道蜂ヶ峯公園線の進捗状況と災害時の防災倉庫利用は**

**質問** 3丁目さくら公園

辺りから蜂ヶ峯総合公園に至る道路が県道として認められ、災害道路としても町民にとって非常に重要と思うが進み具合は。

**課長** 企画総務 平成28年4月に県

道路線として認定され、測量調査、道路詳細設計が行われ、令和2年11月には住民説明会を実施している。現在は用地測量や建

物調査、境界確認、用地買収等を進めている。

**質問** 防災広場にある防災倉庫2棟の役割は。

**課長** 災害時、ヘリコプ

ターの燃料補給、整備運行に必要な資機材を保管する。町が同時に複数の避難所を開設する際、必要な防災資材も保管している。

**\*バラ園に関する事業の進捗状況**

**質問** 現在4000本の

バラが植樹され、開花時期には多くの方が来園しにぎわっている。トイレ新設工事やリニューアル事業の予算が計上されているが進捗状況は。

**課長** トイレ新築工事は

本年6月末に実施設計を終え、完成は来年2月

末の予定。リニューアル事業は公募型プロポーザルを実施し業者を選定した。

令和5年3月末までにバラの植え替えや土壌改良等の整備を実施する。愛着のあるバラ園にするため、苗木の植付けや土づくりは町民のボランティアを検討している。



バラ園トイレ完成イメージ図

# 子どもたちの命を守る 安全、安心は

うえだ じょうじ  
上田 文二 議員



**町長** 全てにおいて緊急以外は優先順位を決めて  
取り組んでいく

**質問**

瀬田地区も道路の  
道幅が狭く、30キロ

**事務局長** 現在、公安委員会  
に横断歩道の再塗  
装、県土木に交差点の改良  
について協議を行ってい  
る。

**質問** 郵便局前の交差点  
の危険回避で、つっ  
じが丘団地内のように道路  
面にオレンジ色の標示はで  
きないか。

**警務委員会  
事務局長** 防護柵や看板につ  
いては、都市建設課  
と協議しながら県土木に要  
望していく。スクールバス  
や公共交通の利用について  
は、考えていない。

**質問** 関ヶ浜からの通学  
路は、道幅が狭く交  
通量が多くトラックなどが  
飛び込んで来た場合に縁石  
だけでは、危険を回避出来  
ない。看板や車両用防護柵  
の設置また、スクールバス  
の検討について問う。



注意喚起のために看板増設を

**質問**

コロナ禍のもと  
で、さらに子どもた

**事務局長** 道路面の標示は、  
町道においては町が再塗装  
をする。塗り替えの基準は  
なく、要望を出してからに  
なる。

制限区間になっているが、  
30キロ制限の標識が分かり  
にくく、道路面の標示が消  
えている。道路面の標示の  
改善について問う。

**事務局長**

道路面の標示は、  
町道においては町が再塗装  
をする。塗り替えの基準は  
なく、要望を出してからに  
なる。

**教育長**

バス通学は、要件  
緩和が検討されると  
聞いているので動向に注視  
したい。

車道と歩道の明確化のた  
め、ガードレール・ガード  
パイプの設置等の安全対策  
を要望していく。

学校では、児童生徒に対  
する危険予知トレーニング  
を図る。

学校・家庭における安全  
教育・防犯教育、危険回避  
についても指導していく。  
さらに、地域で子どもたち  
を育て、地域が子どもを守  
るといふ風土作りも重要と  
考える。

**町長**

子どものみならず  
町民の全ての方が安  
全に生活することが一番と  
考える。

全てにおいて対応したい

が、優先順位を決めて取り  
組んで行きたい。緊急を要  
することはすぐに取り組  
む。  
事件、事故は少しの油断  
で起こる事が多く、町内で  
も危険なところも沢山あり  
注意喚起をしていただき、  
学校では、安全教育の徹底  
また、保護者、学校、自治  
体がそれぞれ協力して安全  
を図っていききたい。



交通量が増えている県道北中山岩国線

# ひとり親家庭で親・子どもどちらかに陽性反応が出た場合の対応は

かや とみひろ  
嘉屋 富公 議員



## 保健福祉課長 山口県の保健所が差配している

**質問** ワクチンが何回分の残量があり、未だに接種できていない方への対応策をどのように考えているのか。

**課長** ワクチン残量は、集団接種終了時点で、1104回分の余剰ワクチンが見込まれる。余剰分については、山口県が調整し、県内で不足している自治体に配布することとなっている。今後ワクチン未接種者が接種を希望された場合の対応は、町内の医師と協議を行い、ワクチンの有効期限や1バイアル6回分という特性を考慮して、今後の方針を決定する予定だ。

**質問** 和木町民にコロナウイルス感染症陽性反応が出た場合の入院先や宿泊療養施設はどうなっているのか。

**課長** 山口県が陽性確定し、入院の必要がある重症から中等症に相当す

る方は、県内医療機関の558床が確保されている。入院医療機関と宿泊療養施設を合わせて、1141人分の受け入れ体制が整備されている。

**質問** 母子、父子家庭の対応はどうか。親・子どもどちらかに陽性反応が出た場合の対応はどうか。

**課長** 母子・父子家庭等、親・子どもどちらかに陽性反応が出た場合、和木町から指導などは行っていない。山口県の保健所が差配をしている。



接種時の問診風景

**質問** 運動会や修学旅行などの時期を迎える。コロナウイルス感染症が落ち着くまでは行事としては大変難しいと思うが児童生徒に思い出に残る1ページを作っては。

**教育長** 修学旅行については、子どもたちにとってかけがえのない貴重な思い出となる有意義な教育活動であると考えている。その目的となる地域の感染状況、関係自治体の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を把握の上、感染防止策の確実な実施や保護者などのご理

解・ご協力を前提に適切に判断していく。

**質問** こども園、小学校、中学校で休園・休校は何人程度コロナウイルス感染症陽性者が出た場合に検討し、実施するのか。

**教育長** 文部科学省が「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染確認された場合の対応ガイドライン」を発表しこれに沿って適切な措置を講じる。

**質問** 和木町民を対象にしたPCR検査、抗原検査を行う予定はあるのか。

**保健福祉課長** 全住民を対象としたPCR検査、抗原検査を実施する予定はない。山口県では、感染への不安がある無症状の方を対象に無料で、8月26日から郵送方式による集中PCR検査が実施された。

あなたの地区を紹介してください

- ①地区の特色や活動
- ②会長さんの趣味

【自治会長さんに聞きました】 パートⅢ



【緑ヶ丘自治会】上山 登さん

- ①緑ヶ丘は世帯数100ぐらいの大所帯です。高齢者が多く、2、3年前までやっていた「夏祭り」や「とんど」のイベントも今はやっていません。自治会長歴も長く、いろいろな要望もし、行動力を発揮しています。一斉清掃は、みなさん協力的で隅々まで綺麗にしてもらっています。
- ②スポーツ観戦は幅広く、いろいろ見るのが好きです。野球なら「カープ」。



【関ヶ浜1自治会】関川 勝廣さん

- ①行事は例年であれば、1月にとんど祭りが関ヶ浜1集会所前で行われ、会員の多くが参加して厄払いと健康、幸せを祈願しています。4月には総会・花見、7月には疫神社の厄払いの祭礼、10月には妙見神社の祭礼が行われ、8月には関ヶ浜1・2自治会合同で盆踊り大会を盛大に行っています。12月には忘年会で会員相互の交流を行っています。コロナ感染症が早期に終息することを願うばかりです。
- ②弓道と写真、ドライブです。



【瀬田1自治会】岡崎 弘夫さん

- ①瀬田1丁目自治会は世帯数83で高齢者が多いですが、会員同士のつながりは良く、田んぼがあるのどかな地区です。最近、新築が増え、若い家族が増えつつあります。一日でも早くコロナが終息し、新会員さんと一緒にイベントを通し、絆を深めていきたいと思えます。
- ②ランニング



町づくり懇談会  
中止のお知らせ

第11回和木町議会町づくり懇談会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止いたします。

編集後記

今回広報委員になり、議会だよりの制作に奮闘しているところですが、コロナ禍の中思うような活動もできず歯がゆい思いをしています。コロナが収まればしっかりと広報活動を行い、町民の皆さまとの距離も縮めたいと考えています。

今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され世界中の選手達が日本を訪れ、多くの方々の協力と思いやりにテレビの前で感動に胸を熱くされた方も多いでしょう。

和木町では、蜂ヶ峯総合公園においてBe e+エリアのオープンや公園リニューアルが進んでいます。これからの公園のにぎわいに大いに期待しています。

今後も議会は、小さくてもキラリと光るコンパクトな町を目指して、広報活動を進めていきます。

(森脇 明美)

発行責任者  
議長 兼 本 信 昌

広報広聴委員長  
灰 岡 裕 美

広 報 部  
森脇 明美 中村 充子  
上田 丈二 津島 宏保

